

神経内科

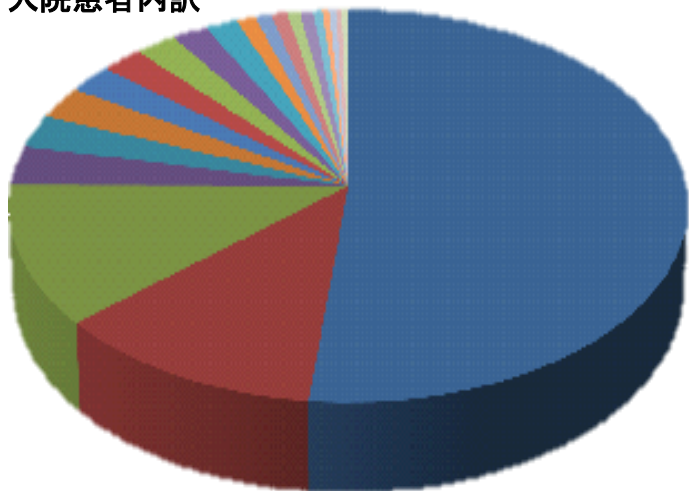
神経内科は脳から手足の先まで張り巡らされている神経に係る疾患を診療します。疾患の原因としては脳血管障害、変性疾患、末梢神経疾患、自己免疫疾患、脱髄疾患、感染症、筋疾患、脊髄疾患、遺伝性疾患、機能性疾患などがあります。

当院は三次救急までを行う病院で、急性疾患が多いのが特徴です。超急性期脳梗塞の血栓溶解療法や血栓回収療法も行います。パーキンソン病などの変性疾患、ギラン・バレー症候群などの末梢神経疾患など他の疾患も外来・入院を通して数多くみています。

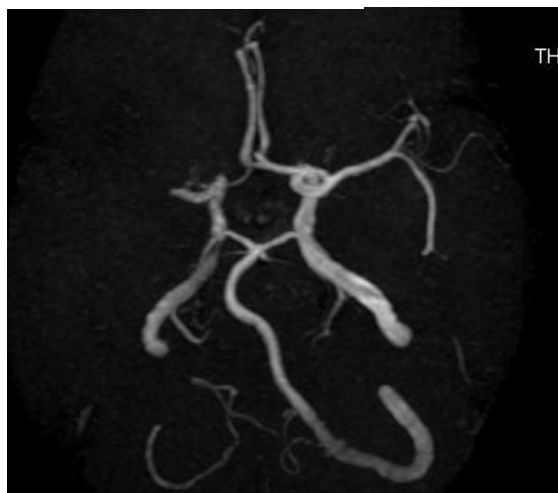
神経内科の診断で最も大切なのは病歴聴取です。診察と病歴から診断を絞り込み、画像、生理検査、病理などで確認する醍醐味を一緒に体験しませんか。

急性疾患から変性疾患の緩和ケアまで幅広く学べます。「神経内科=治らない病気を扱う科」ではありません。これからの神経内科は「治す神経内科」を目指します。

入院患者内訳



- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| ■ 脳梗塞・TIA | ■ パーキンソン病 | ■ その他変性疾患 |
| ■ 脳出血 | ■ 肺炎など感染症 | ■ めまい・頭痛 |
| ■ てんかん | ■ CIDP・MMN | ■ その他 |
| ■ 髄膜炎・脳炎・脳症 | ■ GBS・フィッシャー症候群 | ■ 末梢神経障害 |



左半身完全麻痺



左上肢拳上、立位可能